

北広島市告示第 11 号

条件付一般競争入札を行うので、北広島市契約規則（平成 15 年北広島市規則第 12 号）第 5 条の規定に基づき、次のとおり告示する。

令和 3 年 1 月 7 日

北広島市長 上 野 正 三

1 入札に付する事項

- (1) 工 事 名 北進通道路改築工事（上部工）
- (2) 工事場所 北広島市美沢、共栄
- (3) 工事概要 北進橋 橋梁上部工
工場製作工 1 式
工場製品輸送工 1 式
橋梁架設工 1 式
鋼橋足場等設置工 1 式
仮設工 1 式
- (4) 工 期 令和 3 年 3 月 18 日から令和 4 年 2 月 21 日まで
- (5) 予定価格 事後公表とする。
- (6) そ の 他 この工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

2 発注方式

単体とする。

3 入札参加資格に関する事項

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当する者でないこと。
- (2) 令和元・2 年度における北広島市建設工事等競争入札参加資格者名簿（以下「入札参加者名簿」）において、登録種別「その他工事（鋼構造物工事）」に登録されていること（会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）による再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、当該登録種別の再認定を受けていること。）。
- (3) この公告の日から入札の日までの期間において北広島市競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成 17 年 3 月 2 日市長決裁）第 2 条第 1 項の規定による指名停止の措置（以下「指名停止措置」という。）を受けている期間中でないこと。
- (4) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再認定を受けた者を除く。）等経営状態が著し

く不健全である者でないこと。

- (5) この工事に対応する建設業法の許可業種に係る監理技術者又は主任技術者を工事現場に配置できること。
- (6) 対象工事に対応する建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）の許可業種につき、当該許可を受けてからの営業年数が 4 年以上であること。
- (7) 対象工事に係る設計業務等の受託者（以下「受託者」という。）でないこと。なお、受託者とは次に掲げる者である。
「株式会社 アリヤス設計コンサルタント」
- (8) 受託者の発行済株式総数の 100 分の 50 を超える株式を有し、又はその出資の総額の 100 分の 50 を超える出資をしている者でないこと。
- (9) 代表権を有する役員が受託者の代表権を有する役員を兼ねていないこと。
- (10) 入札に参加しようとする者の間に、次に掲げる資本関係又は人的関係が無いこと。

ア 資本関係

次のいずれかに該当する 2 者の場合。ただし、子会社（会社法（平成 17 年法律第 86 号）第 2 条第 3 号の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が会社更生法第 2 条第 7 項に規定する更生会社又は民事再生法第 2 条第 4 号に規定する再生手続が存続中の会社（以下「更生会社等」という。）である場合を除く。

(ア) 親会社（会社法第 2 条第 4 号の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

次のいずれかに該当する 2 者の場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社等である場合を除く。

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更生法第 67 条第 1 項又は民事再生法第 64 条第 2 項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正が阻害されると認められる場合

ア、イと同視し得る資本関係又は人的関係があると認められる場合

- (11) 次の条件を満たす工事（平成22年4月1日以降に竣工したものに限る。）の受注実績を有していること。

「北海道内に製作工場を有し、公共工事による橋梁上部製作工事」

- (12) 次の条件を満たす工事（平成22年4月1日以降に竣工したものに限る。）の施工実績を元請として有していること。

「国または地方公共団体との請負契約における橋梁上部架設工事」

4 入札参加申請及び資格の審査

- (1) 入札に参加しようとする者は、次に掲げる書類（以下「申請書類」という。）を提出しなければならない。

ア 申請書類

(ア) 条件付一般競争入札参加資格審査申請書（別記第 1 号様式）

- (イ) 入札参加資格者名簿の登録種別「その他工事」に登録されていることを証明する書類(競争入札参加資格審査結果通知書(はがき)の写し)
- (ウ) 同種工事施工(業務履行)実績書(別記第2号様式)
- (エ) 主任(監理)技術者経歴書(別記第3号様式)
- (オ) 現場代理人経歴書(別記第4号様式)
- (カ) 手持ち工事の状況(別記第5号様式)
- (キ) 配置予定技術者等の工事受持ち状況(別記第6号様式)
- (ク) (ウ)に記載した工事の施工概要及び施工したことを証明する書類(工事カルテ、契約書、設計図書等の写し)
- (ケ) 審査結果通知用返信用封筒

イ 提出期間

告示の日から令和3年2月1日(月)までの日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く、9時から17時まで。

ウ 提出方法

申請書の提出は郵送によるものとし、一般書留郵便又は簡易書留郵便のいずれかの方法により郵送してください。

エ 提出場所

住 所 北広島市中央4丁目2番地1

場 所 北広島市会計室契約課(北広島市役所3階)

- (2) 申請書類は、北広島市役所ホームページに掲載する。
北広島市役所ホームページ <https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>
- (3) 入札参加資格については、申請書類の提出期限の日を基準日として確認するものとする。
- (4) 入札参加資格の審査結果については、令和3年2月5日(金)までに条件付一般競争入札参加資格審査結果通知書(別記第8号様式)により通知する。

5 入札参加資格がないと認めた者に対する理由の説明

- (1) 入札参加資格がないと認められた者は、本市に対して入札参加資格がないと認められた理由について、次に従い、書面(様式は任意)により説明を求めることができる。
 - ア 提出期限 令和3年2月16日(火)17時まで
 - イ 提出場所 4(1)エに同じ。
 - ウ その他 書面は持参することにより提出するものとし、送付又は電送によるものは受け付けない。
- (2) 説明を求めた者に対しては、原則として書面を受け取った日の翌日から起算して4日以内に書面により回答する。

6 契約条項を示す場所及びその期間

- (1) 設計図書の閲覧等
 - ア 閲覧期間及び時間

告示の日から入札執行の前日までの休日を除く、9時から17時まで。

イ 閲覧場所

閲覧室での閲覧は行わない。

ウ 入手方法

希望する者は、申請書類提出期限までに下記メールアドレスに案件名・会社名・担当者名・連絡先を記載の上、メールを送信してください。送信されたメールアドレスに対してデータ送付いたします。

北広島市役所会計室契約課 E-mail : keiyaku@city.kitahiroshima.lg.jp

(2) 設計図書に対する質問等

ア 質問の受付期間及び時間

告示の日から令和3年1月27日（水）までの休日を除く、9時から17時まで。

イ 受付場所及び提出方法

(ア) 受付場所

4(1)エに同じ。

(イ) 提出方法

質疑応答書（様式は任意）により、持参すること。

※質問がない場合は提出不要

ウ 質問に対する回答の閲覧

(ア) 閲覧期間及び時間

告示の日から入札執行の前日まで。

(イ) 閲覧場所

北広島市役所ホームページに掲載する。

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>

7 入札執行の日時及び場所

(1) 日時 令和3年2月12日（金）9時30分

(2) 場所 北広島市中央4丁目2番地1
北広島市役所4階4F会議室

(3) 開札の立会い

入札者による立会いは行わず、入札事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする。

8 入札方法等

(1) 入札者は、入札書に必要事項を記入し、一般書留郵便又は簡易書留郵便のいずれかの方法により郵送しなければならない。※郵便入札の封筒作成方法参照

(2) 入札書の到達期限

令和3年2月10日（水）17時まで。

(3) 入札書の提出先

4(1)エに同じ。

(4) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨て

た金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

- (5) 開札の結果、予定価格以下の入札がない場合は、直ちに再度入札を実施するが、再度入札の回数は1回とする。
- (6) 再度入札を行う場合、入札執行者は第1回目の最低入札価格、入札者の提出期日、開札日時及び場所を指定し、入札参加者にファクシミリで通知する。
- (7) 入札の執行に当たっては、北広島市建設工事等低入札価格調査制度実施要綱(平成26年3月28日市長決裁。以下「低入札価格調査要綱」という。)に基づき、調査基準価格を設定する。
- (8) 入札を行った結果、調査基準価格を下回る入札があったときは、低入札価格調査要綱に定めた手続により調査を行い、落札者を決定する。
- (9) 調査基準価格を下回る入札をした者のうち、当該入札金額が、予定価格算出の基礎となった額の合計額に満たない場合は、契約の内容に適合した履行がされない恐れがあると認め、当該入札者を失格とする。

9 工事費内訳書の提出

入札書の提出に際し、入札書に記載する入札金額に対応した工事費内訳書を提出すること。

10 入札保証金

免除する。

11 契約保証金

契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を納付しなければならない。ただし、国債、地方債又は銀行が振り出し、若しくは支払保証した小切手の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

12 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- (1) 契約規則第15条各号のいずれかに該当する入札
- (2) 本告示に示した条件を満たさない者が行った入札
- (3) 申請書類を提出期限までに提出しない者が行った入札
- (4) 申請書類に虚偽の記載をした者が行った入札
- (5) 入札参加資格を認められなかった者が行った入札
- (6) 入札参加資格が認められた後、指名停止措置を受ける等入札参加資格に欠けることとなった者が行った入札

13 契約書作成の要否

要

14 支払条件

- (1) 前払金 各会計年度のでき形部分等に対する請負代金相当額の4割以内とし、100,000,000円を限度とする。
ただし、本工事については令和2年度に予算の範囲内において、令和3年度の前払金の一部を含めて支払うものとする。
- (2) 中間前払金 各会計年度のでき形部分等に対する請負代金相当額の2割以内とし、50,000,000円を限度とする。
- (3) 部分払 会計年度ごとに次の回数を限度とする。
令和2年度 なし
令和3年度 4回

15 現場代理人

専任とする。

16 その他

- (1) この告示に定めるもののほか、入札参加者は、契約規則その他関係法令を遵守すること。
- (2) 申請書類の作成及び提出に係る費用は、申請者の負担とする。
- (3) 提出された申請書類は、入札参加資格の審査以外に申請者に無断で使用しない。
- (4) 提出された申請書類は、返却しない。
- (5) 提出期限以降における申請書類の差替え及び再申請は、認めない。
- (6) 入札までの間にやむを得ない事由のため、当該入札を延期又は中止することがある。
- (7) 郵便入札の開札を延期する場合は、到着した入札書等を延期後の開札日時まで厳重に保管するものとし、入札を中止する場合は速やかに入札参加者に返却する。
- (8) 入札が中止となった場合でも申請書類の作成及び提出に係る費用、設計図書の購入費用は、申請者の負担とする。
- (9) 落札決定から契約締結までの間に指名停止措置を受ける等本告示に示した入札参加資格に欠けることとなった場合、当該落札決定を取消すことがある。

17 問合せ先

〒061-1192

北広島市中央4丁目2番地1

北広島市会計室契約課（北広島市役所3階）

TEL 011-372-3311（内線3353）

FAX 011-373-2903